

令和 6 年度第 2 回豊かさ共創フォーラム

令和 7 年 3 月 2 7 日(木)
10:00-12:00

山梨県

本日は議論いただきたいこと

R 7 年度のキャリアアップ・ユニバーシティの講座構成について

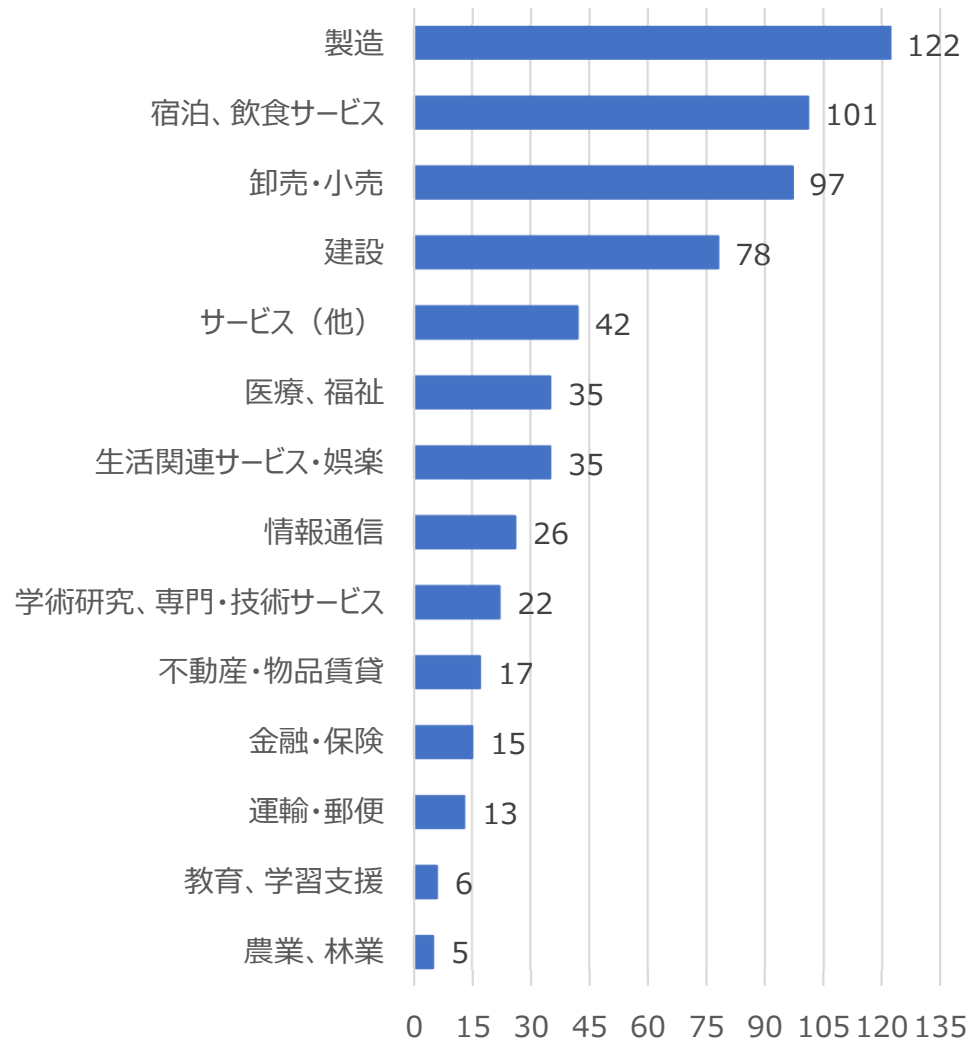
豊かさ共創フォーラム資料

- 1 スリーアップ推進宣言企業の状況について
- 2 R 6 年度キャリアアップ・ユニバーシティの実績について
 - (1) R 6 年度受講実績について
 - (2) 受講後の実践状況について
 - (3) 受講生コミュニティについて
- 3 R 7 年度キャリアアップ・ユニバーシティの講座について
 - (1) 企業ニーズ等について
 - (2) 講座の構成について
 - (3) 講座のスケジュールについて
- 4 上位認証制度について

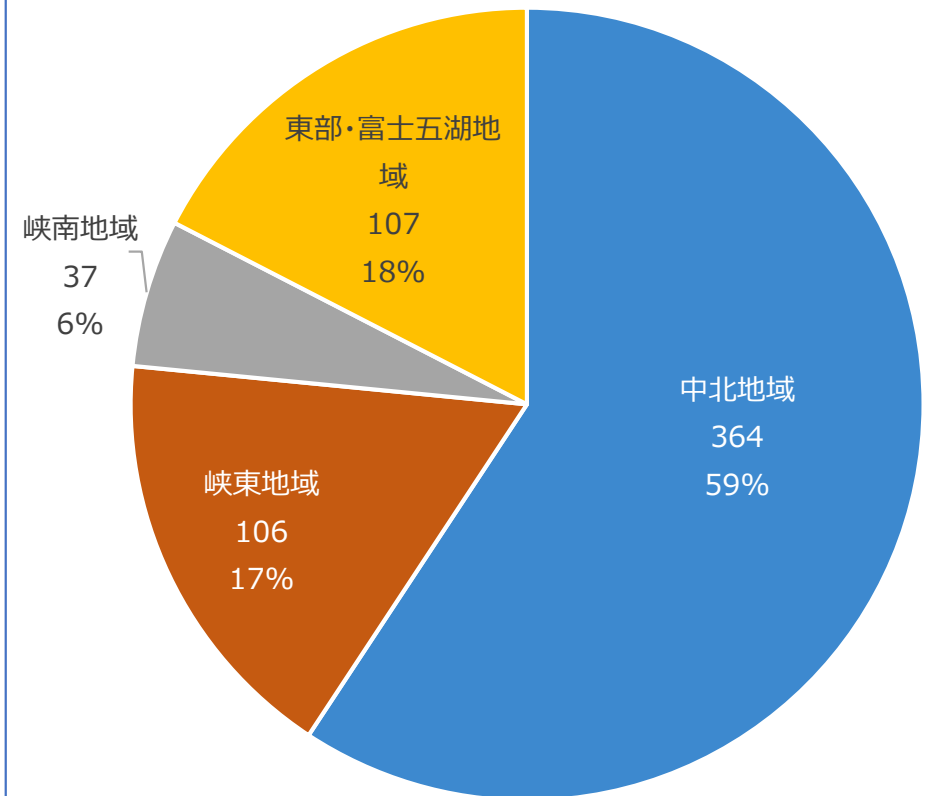
1 スリーアップ[®]推進宣言企業の状況について

・スリーアップ推進宣言企業は614社（2月末現在）

業種別宣言企業数



地域別宣言企業数



2 R6年度キャリアアップ・ユニバーシティの実績について

(1) R6年度受講実績について

- ・R6年度は、76社から累計207名が受講。R6年度新規受講企業は60社。
- ・受講後者は97%が満足と回答。実践を始めた者は72.4%にのぼり、実践型講座として効果を発揮していると評価。

受講状況

講座分類	回数	受講者
経営マネジメント【基礎】	2	26
経営マネジメント【応用】	2	22
DX実践講座【基礎】	3	24
DX実践講座【応用】	2	29
DX実践講座【特別編:生成AI】	1	18
コミュニケーション講座【基礎】	2	28
コミュニケーション講座【応用】	2	25
ものづくり【基礎】	1	6
ものづくり【応用】	1	11
観光経営人材育成講座	1	16
事業創造実践講座	1	2
合計	18	207

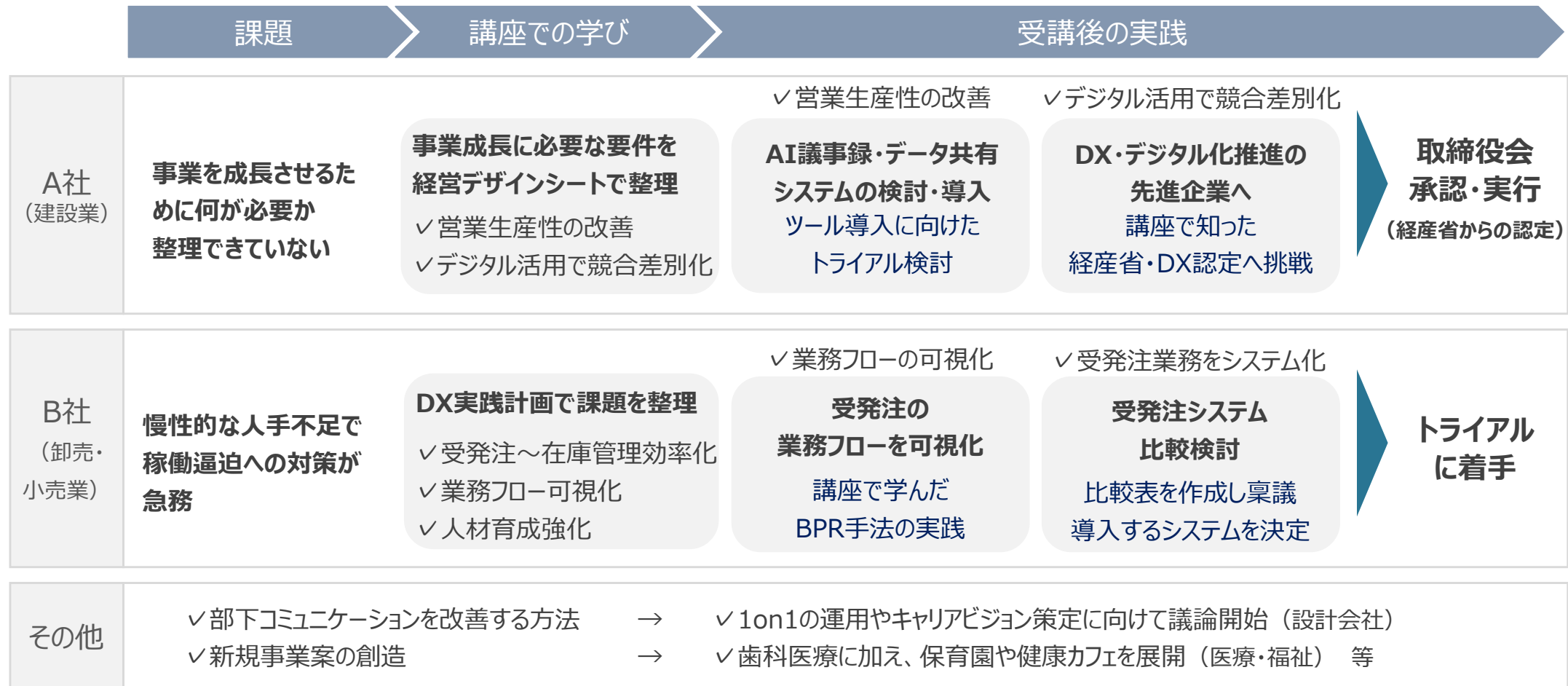
受講者へのアンケート結果

主なコメント（企業・概要）	
経営層	講座で作成した経営デザインシートの内容を、着実に実行していこうと思いました。（製造業・50代・男性）
管理者層	ビジネスモデル構築と再定義の考え方をシンプルかつハイレベルに学ぶことができ、これから大きな経営者になっていくための礎となりました。（建築業・30代・男性）
リーダー層	DXの基礎から企業の実践事例を学び、モチベーションが上がりました。（製造業・30代・女性）
社員層	コミュニケーション講座で学んだ事を活用し、社員にその意義と重要性を周知していきたいと思います。（サービス業・40代・女性）

2 R6年度キャリアアップ・ユニバーシティの実績について

(2) 受講後の実践状況について

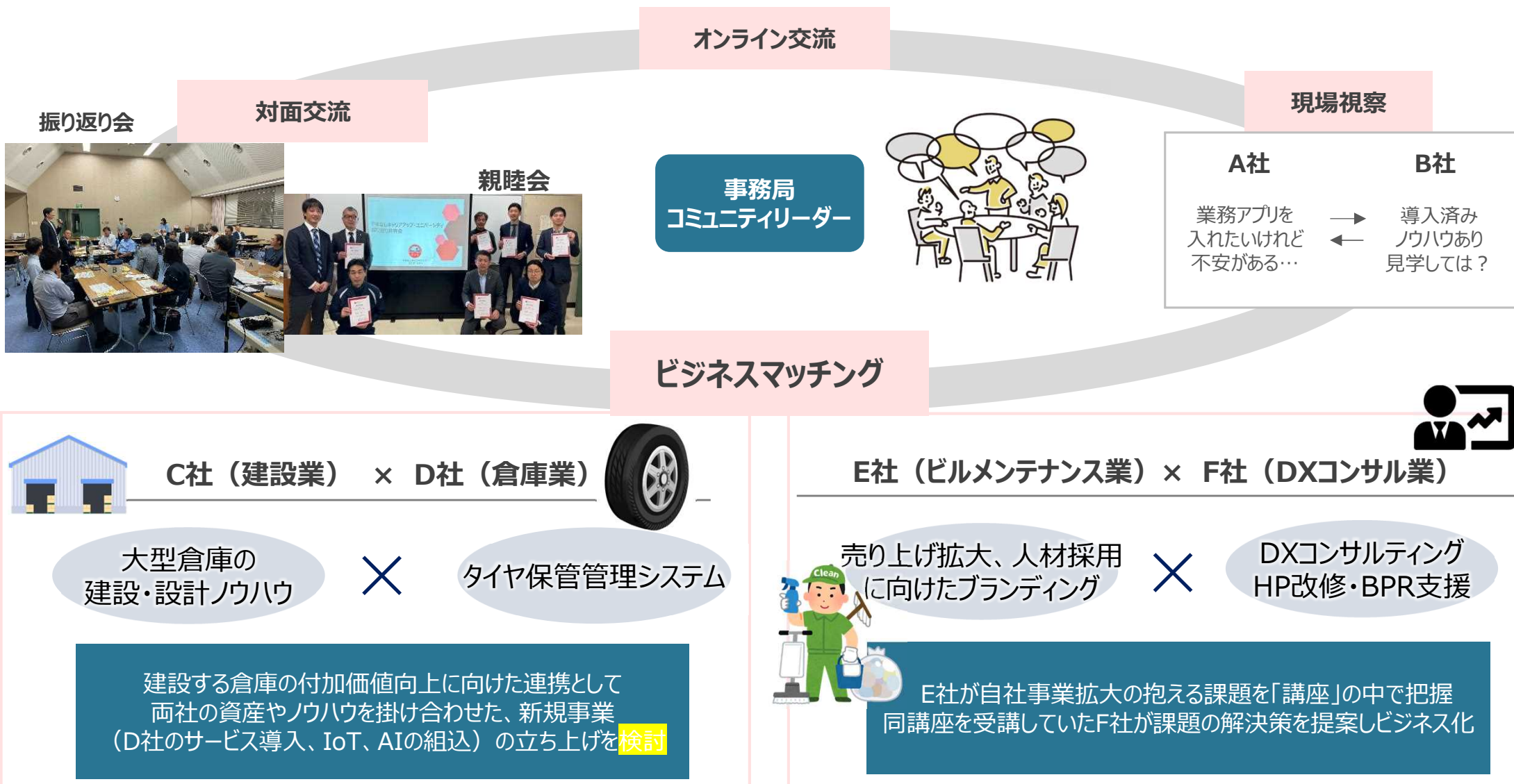
- ・A社（建設業）は、経営マネジメント講座＋DX講座を受講。講座で作成した「経営デザインシート」「DX計画」をもとに、取締役会で「**デジタルを活用した事業戦略・DX計画**」を提案。経産省のDX認定も取得。
- ・B社（卸売・小売業）は、DX講座＋生成AI講座を受講。ケースワークで把握した課題の解決に向けて「**受発注～在庫管理／顧客管理システムの見直し**」を経営層へ提案。AI-OCRやKintoneのトライアルに着手。



2 R6年度キャリアアップ・ユニバーシティの実績について

(3) 受講生コミュニティについて

- ・オンライン・対面によるコミュニティの場を提供し、学びの定着・実践を後押し。
- ・交流の場から課題解決に向けた現場視察や、新事業・新展開などのビジネスマッチングも創出。



3 R7年度キャリアアップ・ユニバーシティの講座について (1) 企業ニーズ等について

スリーアップ宣言企業へのアンケートから

- 従業員に求めるスキルは「コミュニケーション」が最多。
- 続いて「部下育成・後輩指導」「チーム・組織運営」「リーダーシップ」「生産性向上」が上位。

従業員に求めるスキル（複数回答）

	内 容	割合
1	コミュニケーション	76.6%
2	部下育成・後輩指導	58.2%
3	チーム・組織運営	53.5%
4	リーダーシップ	50.8%
5	生産性向上	47.7%

企業ヒアリングから

- ① 自分（経営者）の**右腕を育てたい**。経営者の観点を社員も学んでほしい。
- ② **今後の事業構想を考えたい**。異業種の経営者と交流したい。
- ③ **デザイン思考による経営や広報を学びたい**。
- ④ **上層部の思いと若手の考え方にギャップ**がある。
- ⑤ **中途採用の社員への教育が課題**。
- ⑥ 業務行程がアナログなので、**システムを導入して効率化したい**。
- ⑦ システム更新を機に**社内にDX思考を根付かせたい**。DX推進のリーダー役を育成したい。
- ⑧ 会場までの往復時間まで捻出できない。**オンラインで受講したい**。



組織内マネジメントやコミュニケーションに関する根強いニーズ
DX、業務効率化に課題を抱える企業が多い
場所の制約なく受講可能なオンライン受講への要望が多い

3 R7年度キャリアアップ・ユニバーシティの講座について

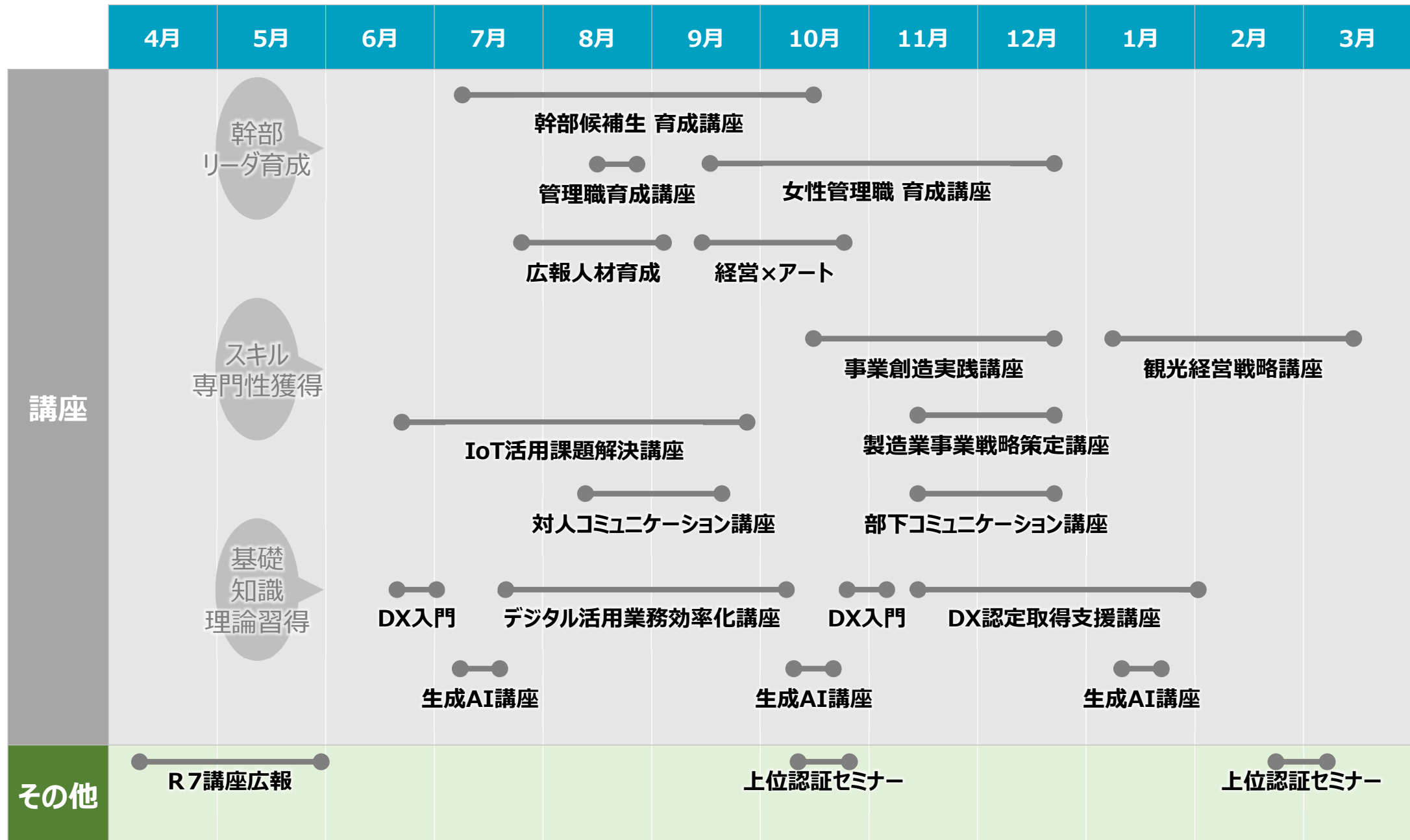
(2) 講座の構成について

- ・組織マネジメントやコミュニケーションに関する講座を拡充。
- ・DXや業務効率化に関する根強いニーズに応えるため、幅広い対象者・課題感に応じた講座を用意。
- ・オンラインやハイブリッド方式を活用した講座を開設。

	基礎編 (知識・スキルの習得)	実践編 (習得した知識・スキルを実践する講座)
経営層 社長 役員	1 経営×アート思考 (山梨デザインセンター連携)	
管理職層 部長 課長	製造業向け事業戦略策定講座 観光経営戦略講座 (観光文化・スポーツ部連携) 2 対人コミュニケーション講座 自社広報人材の 育成講座 (山梨デザインセンター連携)	3 幹部候補生育成講座 4 部下コミュニケーション講座 管理職育成講座 女性管理職育成講座 デジタルを活用した業務効率化実践講座 5 DX認定取得実践講座
リーダ層 課長・係長 ・主任	生成AI講座	6 IoT(ラズパイ)を活用した課題解決講座(産短大連携)
一般社員	DX入門講座	事業創造実践講座 (県立大PENTAS連携)

4 R7年度キャリアアップ・ユニバーシティの講座について

(3) スケジュールについて



4 上位認証制度について

- ・スリーアップ好循環の早期実現に向けて、実践している企業の認定制度を創設。
- ・認定へのチャレンジを促進するため、足がかりとなる部門を設けることも視野。

認証主体	山梨県
審査内容	次の2点により審査を行う。 I 推進宣言5項目の実践状況 ①経営方針の共有 ②意見等の尊重 ③スキルアップ ④収益アップ ⑤賃金アップ ・5つの宣言項目に関する実績を確認 II 人材育成の戦略 ・人的資本経営の考え方 ・スリーアップ実現のシナリオ ・希望するオーダーメイド研修（キャリアアップ・ユニバーシティ）の内容 など
認証企業の決定手順	5月 申請の受付開始 8～9月 審査委員会の設置、候補者の選定（ヒアリングの実施）、対象者の決定 10月 認証式 ※認証は3年ごと更新を想定
インセンティブ	・上位認証企業のPR ・キャリアアップ・ユニバーシティでのオーダーメイド研修の提供（初回のみ） ・地域雇用施策（就職フェア、インターンシップ等）の優先参加枠の付与 ・物品競争入札参加資格の資格審査基準の加点 ・認証ロゴマークの使用権の付与

参考資料

R 7 年度 講座のカリキュラム（案）（一部抜粋）

R 7 講座の概要（案）について

No	講座名	目的	講座内容	対象者	獲得スキル	受講後の姿
①	ビジネスを成長させる デザイン戦略 ～事業・商品企画に活かす デザインの力～	山梨デザインセンターディレクター陣から、事業戦略やサービス開発に必要な「デザイン」について学ぶ	- 事業・商品企画に「デザイン」が求められる理由・必要性 - デザインを具体的に組み込むプロセス - 受講者が自社で携わるサービス・事業戦略のデザイン化	自社サービスを持ち、開発・企画等に携わる、経営層・管理職層・実務リーダー層	- 自社事業・サービスにデザイン思考を取り入れるスキル - 顧客、市場を俯瞰的に把握する思考力	デザイン観点で自社サービス、事業戦略の魅力を引き出し、顧客や社会からの評価を向上
②	自社の魅力を伝える 広報戦略講座 ～情報発信の基礎から、 SNS運用・PR記事作成 まで～	- ブランド認知度や顧客信頼度の向上 - 具体的な運用のテクニックを学ぶ	- 自社広報の役割と重要性 - SNS運用の実践 - 広告運用の基礎知識 - PR記事作成の実践	- 広報担当者 - マーケティング担当者	- 自社の魅力を言語化するスキル - SNS等の運用スキル - 効果測定をするスキル	- 広報戦略プランの完成 - 広報ツール（SNS）の運用
③	未来を創る経営戦略講座 ～次期幹部候補向け、 組織を動かすリーダーシップと 実践力～	経営戦略の整理と実践力の養成	- 経営戦略の基礎知識 - 経営デザインシートをもとにした計画策定 - 実践に向けた組織マネジメント、KPI設定	管理職層	- 経営戦略策定スキル - 策定した戦略を組織内で実践するスキル	経営デザインシートの策定とその実践
④	部下を育てる コミュニケーション術 ～部下との対話を通じて育成 とチーム力向上を目指す～	管理職が部下とコミュニケーションを取る実践スキルを獲得する	- コミュニケーションの基礎と理論 - フィードバックと1on1の実践 - モチベーション管理とエンゲージメント管理 - 問題解決型（GROWモデル）の活用	部下育成に課題を感じている管理職	- 心理的安全性を高める対話力 - 効果的なフィードバックを実現するコミュニケーションスキル - 職場環境構築	部下と信頼関係が構築できたチーム

R 7 講座の概要（案）について

No	講座名	目的	講座内容	対象者	獲得スキル	受講後の姿
⑤	DX認定取得講座 ～経産省が掲げる“DX認定” の取得を伴走形式で支援～	「DX認定」の取得申請の支援	- DXや進め方の理解 - DXで解決したい課題、チャレンジしたい事業を言語化 - 組織内のDX推進に向けた支援 - DX認定取得に向けた申請書作成支援	- 管理職層 - リーダー層	- DXに関する基礎知識 - DX戦略策定スキル - 組織展開スキル	DX認定の申請
⑥	IoTを活用した生産設備効率化を目指す実践講座 ～IoT機器“ラズベリーパイ”の 使い方からシステム構築方法 まで伴走支援～	IoT機器で業務効率を改善する方法を学び、実践	- IoT機器（ラズベリーパイ）の理解 - IoTシステム構築の実践 - 生産設備等の課題の発見とIoTでの改善策の検討	リーダー層	- IoT機器を用いたプログラム構築スキル - 生産設備の課題可視化	- IoT機器を用いたシステム - 生産設備の課題とIoT機器を用いた解決の方向性